

市立岡谷美術考古館移転開館10周年記念 特別企画展

てん の う が い と  
天 王 垣 外 遺 跡 の  
ま が くだ  
勾 玉 ・ 管 玉  
たま たま

～東京国立博物館から115年ぶりの里帰り～

2023年7月15日(土)～9月18日(月・祝)



東京国立博物館所蔵  
Image : TNM Image Archives

**開館時間** 10:00～18:00

**休館日** 毎週水曜日、祝日の翌日（8/12は開館）

**入館料** 一般 520円（370円） 小・中学生 260円（160円）

※（ ）は10名以上の団体料金

※諏訪郡内在住・在学の小・中学生、岡谷市内在住・在学の高校生は無料です。

**[主 催]** 市立岡谷美術考古館

**[特別協力]** 国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館

本展覧会は  
「国立博物館収蔵品貸与促進事業」の  
特別協力を受けています。

この事業は、東京・京都・奈良・九州の4つの国立博物館が  
全国の博物館・美術館に対し、地域ゆかりの収蔵品を貸し出し、  
文化財活用センターがその輸送費等を支出するものです。



市立 岡谷美術考古館

〒394-0027 岡谷市中央町一丁目9番8号  
TEL/0266-22-5854 URL <http://www.okaya-museum.jp/>



独立行政法人国立文化財機構

文化財活用センター  
NATIONAL CENTER FOR THE PROMOTION OF CULTURAL PROPERTIES



東京国立博物館  
TOKYO NATIONAL MUSEUM



岡谷市の天王垣外遺跡から発見された勾玉・管玉類は、弥生時代を代表する貴重な文化財として東京国立博物館に収蔵・展示されてきました。その玉類が115年ぶりの里帰りとなり、一堂に展示します。

明治40年8月、天王垣外遺跡の一面から一つの壺が発見されました。

場所は現在の中央通りとなる村道の開通工事で、発掘の際に壺は割れてしまいましたが、その中には300個以上の勾玉・管玉類が入っていたそうです。その玉類は当時の平野村（岡谷市の前身）役場、長野県庁を經由して、帝室博物館（現東京国立博物館）で現在まで収蔵・展示されてきました。

その勾玉・管玉類が「国立博物館収蔵品貸与促進事業」を活用することにより、115年ぶりに発見された岡谷市に里帰りし、一堂に展示できる機会に恵まれました。

この夏、弥生時代の岡谷について考えてみませんか。

# 天王垣外遺跡の玉類

東京国立博物館から百十五年ぶりの里帰り



東京国立博物館所蔵 Image : TNM Image Archives  
左上：管玉（152個） 右上：管玉（129個） 左下：勾玉 右下：水晶製小玉（10個）

2023年7月15日(土)  
～9月18日(月・祝)

## 講演会

### 「天王垣外遺跡の玉類が意味するもの」

日時：令和5年8月5日（土）午後2時から  
会場：岡谷市イルフプラザ・カルチャーセンター3F 多目的ホール

講師 長野県立歴史館 町田勝則  
定員 70名（要申込み）  
申込み 市立岡谷美術考古館 TEL22-5854



市立 岡谷美術考古館



〒394-0027 長野県岡谷市中央町一丁目9番8号  
TEL 0266-22-5854 FAX 0266-22-5856  
URL <http://www.okaya-museum.jp/>



JR 中央線  
岡谷駅下車  
徒歩5分

長野自動車道  
岡谷ICから  
車で10分